

Title: 「From Wind」



佐木 剛
.....
ファイダー感しの
ルートの中に
驚きと感動を
みつけられるよう
に。

わたしは
いつも、いまも
なんでもない放浪の
日々を綴る
ドキュメンタリー。

そんな、FWデイズ。

● 最近のエントリー

- ☐ [6月28日という一日。 \[36\]](#)
(2007.06.28)
- ☐ [流れ星を追って \[35\]](#)
(2007.06.27)
- ☐ [董の街とインディアンチャイルドとの攻防 \[34\]](#)
(2007.06.26)
- ☐ [ナラム デイル \[33\]](#)
(2007.06.19)

● アーカイブ

- ☐ [2008年09月](#)
- ☐ [2008年07月](#)
- ☐ [2008年03月](#)
- ☐ [2008年02月](#)
- ☐ [2008年01月](#)
- ☐ [2007年12月](#)
- ☐ [2007年10月](#)
- ☐ [2007年09月](#)
- ☐ [2007年08月](#)
- ☐ [2007年07月](#)
- ☐ [2007年06月](#)
- ☐ [2007年05月](#)
- ☐ [2007年04月](#)
- ☐ [2007年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

RSS 2.0

From Wind > 2007年06月 アーカイブ

07.06.28

6月28日という一日。 [36]

[Tweet](#)

[Check](#)一年に一度のなんてこと
ない日ですが生誕記念日

でしたー。わたし。

インドと日本の時差、3じかんは一ん。
なので9時にネットカフェにいたらおめでとうメール。変な感じです、すごく。

カウントダウンはいつすればいいのー？
ハチ最後の食事はタイ料理でした。っていうかトムヤムでした。うまうま。

今日は全体集合日。
いーえす、みなさんおげんきそうです。





思いの外、ブリーフィングが早く終わったんで寝坊したにもかかわらず美術館へいったり。ここよかったね。規模が。大きすぎるとあまりの展示数に頭いたくなっちゃうんですな。そんなことってない？雨に濡れながら佇む像も素敵でした。インドの違う一面をみれた今日。



こーんな離れてても
覚えてくれてる人がいて
会いたい人もいて
しあわせですわたし。
みんなだいすきだ。
だから遅れてもプレゼントは受け付けますよ？



出発前、
『インドで誕生日なんですー』と笑ってた日が現実。
現実になってみればなんてことないよねー。でも、一生恋れないんだらうなあ。
バナナシでサリーを作ってみたり。チャップリンがいたり。ピンクを着たり。
野犬にびびったり。毎日カレーだったり。
なにしてんだるーって日々がね、楽しいです。
さよならーハタチのわたし。正露丸にはお世話になってません。強くなった、わたし。

あのね、19から20より20から21のほうがおっきいよ。20代になったなって感じ。

というバイト先のまぢちゃんの言葉を思い出していました。

甘えてられないやねー。大人な女を目指すぜ！わたし。
あしたはメグミちゃんです。

カテゴリ：

post by 佑木嗣 | 日時: 2007.06.28 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1234\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[From Wind](#) > 2007年06月 アーカイブ

07.06.27

流れ星を追って [35]

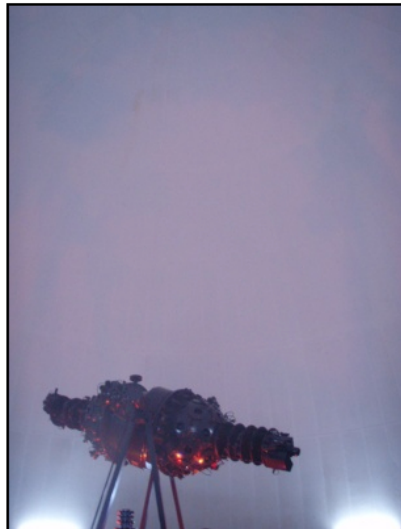
[Tweet](#)

[Check](#)星がみたい。

いままでとは違う星空が

みたい。

というのはFW中の密かな願いであって、島とか砂漠とか草原にも行きます。
もうそろそろ終わるインドではプラネタリウムにもいきましたー。

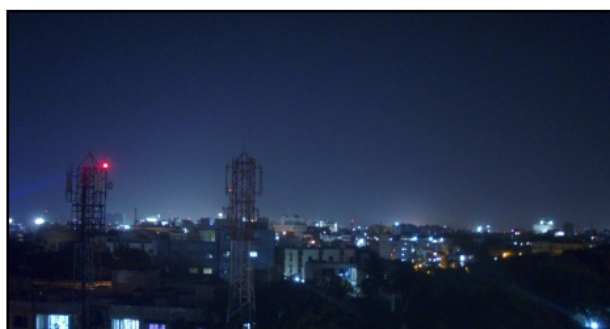


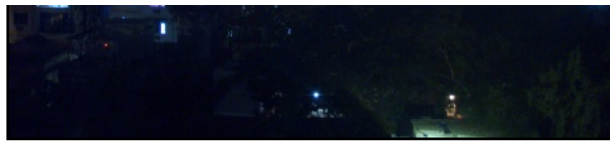
高校時代は写真部一でありそのままに地学部でもあったわたしですー。
あー星座忘れてる。ショック。

まだ、その施設の壁面にしっかり描かれているいま冥王星じゃない冥王星について考えたりしました。

で、英語のぼそぼそいってる解説も聞き取れず睡眠。笑
仕方ない。きもちいい。

でもっていまのところ小笠原のコベベを越える星空には出会ってません。
今後に期待して日ごろの行いを改めようかとおもう次第です。





インドで一番好きだった、チェンナイのホテルカンチからの夜景。

天体観測がしたいっすねー無性に。
今日は星が見えるかなーと。
なんだかセンチメンタルなハタチ最後の夜なのです。

カテゴリ：
post by 佐木瞬 | 日時: 2007.06.27 | [パーマリンク](#) | [コメント \(795\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[From Wind](#) > 2007年06月 アーカイブ

07.06.26

蒼の街とインディアンチャイルドとの攻防 [34]

[Tweet](#)

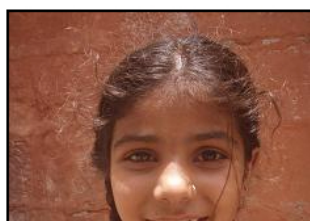
[Check](#)6月20日から6月24日は
ジョードブルに滞在。

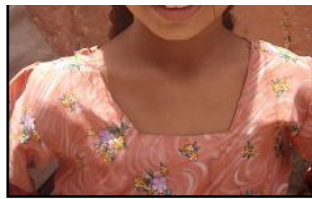
別名『ブルーシティ』とも呼ばれる青い街です。



泊まっていたゲストハウスもブルーに塗りなおしているところでした。
なんたって『THE BLUE HOUSE』ですからねーい。
近いうちに近隣のお家もみんな青くする予定だそうです。
おいしい時期にきました。後輩はぜひ。

最初こそびびっていたインド人ですがごくフレンドリーな印象。
写真もすきみたいです。
ね？みんなかわいいでしょ？





しかしながら何事にも実際のところ...というエピソードはあるもので上の写真を撮るまではこんな感じでした。



『わあああ、俺が写るんだよおおう！』
『いやいや俺だああ！』
『お前らうるさいんだよ...俺でしょ？』
『じゃあ私が』
な図。

『みんなで一緒に撮ろうかー？』
という日本ならまああるくおさまりそうなアタシの提案は即却下されました。
なんて自己主張が強いんだ。なんて熱いんだ、インド。
『マダム、ワン フォトー プリーズ』
お前はもうスリーフォトくらいは撮ったよ！閉口してしまいます。

なので気を抜いているとすぐに
[こんなこと](#)に。笑っているけど助けを求める同胞。逃げるぞっ。

雨季に助けられている私たちです。
インドは旅するにはやっぱり面白いところです。



カテゴリ：

post by 佐木暎 | 日時: 2007.06.26 | [バーマリンク](#) | [コメント \(12\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

From Wind > 2007年06月 アーカイブ

07.06.19

ナラム デイル [33]

[Tweet](#)

[Check](#)



6月7日、インド入国の日。
きみじも言ってたけどFW中インドなんてまだまだ先な気がしておりました。
入国した台湾は日本と近い町並みで、似ているものもたくさんあったし、そこからスタートして、インド。
今まで回った国はどこも初訪問ですが 異質度は一番かもしれません。日本との時差も3時間半だし。
そして暑さも。先生曰く『海外フィールドワークでここがピークじゃないの?』とのこと。
いわば大ボスに立ち向かっている訳ですねー。
23泊と長期滞在です。そんな戦いをしながら私のハタチ時代は終わっていくようです。
『ハタチです☆』って言えなくなるのはさみしーなー。

インドで最初に降り立ったのはチェンナイ。予想より都会でした。ほーら大渋滞。



インド人年齢不詳です。みんな年上に見える。

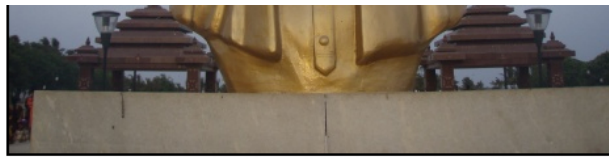
寝台列車移動が多いインド。
切符を買いに駅へ。よく見るガンジー氏。おれもガンジー氏。
小学校の道徳の時間にお目にかかりましたよね？





不思議なもの発見しました。うーん奥深いぞ。





海で出会ったなんだかえらそうなおじさんの像。
遠近法の関係でとても大きく見えますが実際のところそうでもないです。
いつぞやのカンボジアでわたしが撮影したおじさん(ここにも載せましたが)に激似で運命を感じずにはられません。
ペンギンのゴミ箱。
やさぐれた感じが哀愁を誘います。つれて帰りたい。

言葉はぜんぜん通じないものかと思ってましたがインド人も結構怪しい日本語を取得されてるようです。
『ちょっと、ちょっとちょっと!!』とタッチのギャグを連発しながらリキシャーに呼び込むおにーさんもいて、流行りも取り入れているんだなーと妙に感心しました。異質でも、同じ2007年なんですね。元ネタのおすぎやピーコの存在は知らないんだろうけど。

カテゴリ:

post by 佑木剛 | 日時: 2007.06.19 | [バーマリンク](#) | [コメント \(1235\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

From Wind > 2007年06月 アーカイブ

07.06.18

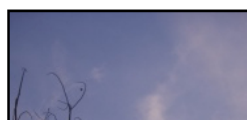
毎日が修学旅行 [32]

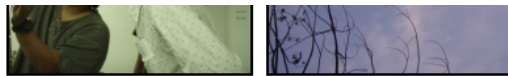
[Tweet](#)

[Check](#)とくにインドですが書きそびれていたのだから

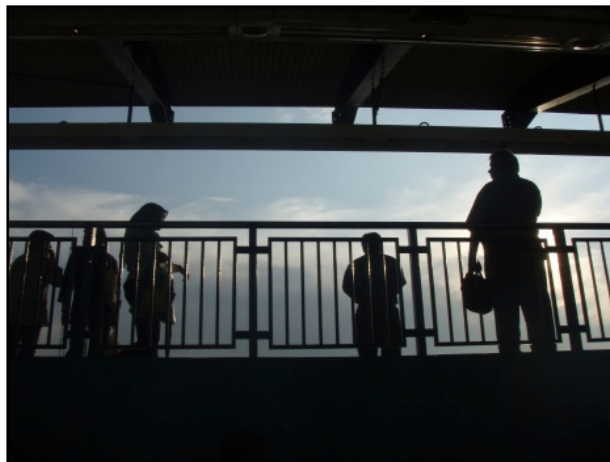
マレーシアのことを。
シンガポール写真展が終わって数日の休息がありました。

長い五人での共同生活のなかで考えていたのは育ってきた環境がいかに自分に影響を与えていたかということ。
合宿よりも日常に近く、クラスメイトで友達であった彼らがルームメイトになっていくとき、思い出すのはやはり同じような環境にあった高校の寮生活でした。
二段ベットというものもそんな思い出のひとつで上の段からみた部屋を見下ろすのがすきだったのの上に寝てましたね。あ、考えて見れば上京してきてからもそんな理由(とスペース的な問題)で二段ベットを使用していました。





一緒にごはん食べたり洗濯したり徹夜したり映画みたり買い物したり...っていう生活の中で、二年間同じ教室にいたのに見えなかったものが見えてくることもある。
そんな人間関係を結んでいけるのも海外フィールドワークで得る特権かもしれませんねー。



ルームシェアがしたい今日のごろです。帰国したら家探しだなー。

カテゴリ:

post by 佐木 暁 | 日時: 2007.06.18 | [バーマリンク](#) | [コメント \(930\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

From Wind > 2007年06月 アーカイブ

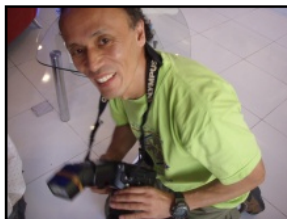
07.06.10

マーライオンなんて見てないわ [31]

[Tweet](#)

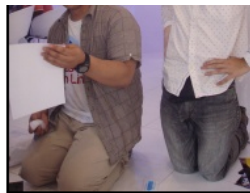
[Check](#)スクーリング終了してほ
っとできたかといえそ

んな訳もなくー即シンガポールに移動、オリンパスギャラリーで写真展ですよー。
お帰りなさいませ、ボス。
なんだか帰国してすっきりしたんじゃないやありませんか？



ビフォー アフター
設営風景。





準備中にはね、予期しない出来事が起こるものです。
『あ、ちょこついちゃった』



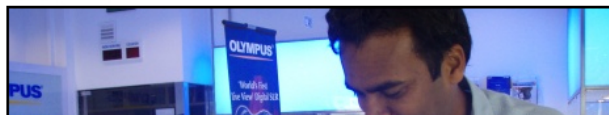
『俺はこやたのいう事は絶対だともってるから』
と、絶大な信頼をおく先生とおかれるこやた。

完成したのはタイムリミットギリギリ。
そうして夜は更けていきます。



初日の朝。天気にはだいぶ恵まれましたー。

呼び込みしたり、





芳名帳は英語でなんだったかと戸惑ってあたり



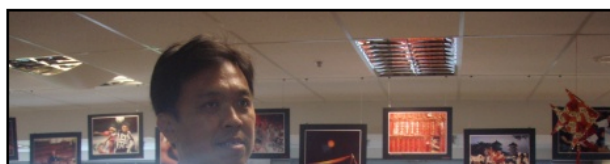
近くのお店にチラシ置いてもらったりとあわただしく過ぎていきました。
局長がいった『フォト イズ ランゲージ』という言葉。
自分たちの写真をみていただけるのはうれしいものです。



あれ、せんばい？



二日目
この日はオリンパスさんの企画で新聞社見学へ。
小学校の社会科見学のようなでした。わくわく。





新聞社。



このですとっぷ素敵でした。



二社目。
あれ、バイト先に似てる。

最終日。



会場風景。





この日は女子は浴衣来ました。
応援に駆けつけてくれた局長と。
わーい局長大好き！FWの癒しでした。また会いたいですー。



さんくすふじもり家。浴衣を着れたのはママのおかげです。
早期から失礼しましたー。



忘れちゃいけない。
カメラ、会場の協賛はオリンパスイメージング様
プリント用紙はココヨ様
FWは多くのみなさまのご協力によりなりました。ありがとうございました。

この展示、約一ヶ月続けていただけるそうです。
見逃して後悔なさってる方はぜひぜひ。
Nippon Photography Institute, Japan
Overseas Photographic Fieldwork Photo Exhibition
Olympus Gallery at Olympus Studio
Olympus Imaging Singapore PTE Ltd.
1 North Bridge Rd., #01-05/34/35 High Street Centre
Singapore 179094
Tel: 65-6339-7686
<http://www.olympus.com.sg>

カテゴリ:

07.06.07

嵐の予感。 [3 0]

[Tweet](#)[Check](#)怒濤のスクーリングでした。いや、思ってたより

楽しかったし有意義な時間でした。
予定より30分早く先生方到着。一同あわあわ。



早めに起きてよかったー。叩きおこされる再会は心臓に悪いですからね。笑
スクーリング中は先生が私たちの寝起きしている場所に来て授業をし、夜には『お疲れさまでしたー。』と見送っていたので学校にいた時とは逆で変な感じでした。
おおまかにどんなスケジュール・内容で動いていたのか記しておきます。



一日目。

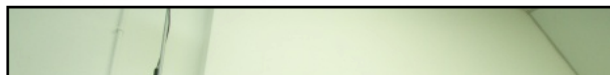
最初に全体集会。その後個人個人で今まで撮ってきた海外テーマ作品をみせる。
学校から言われた目安は100~150枚程度。モノクロはベタも。またレポートも製作して提出。
内容は各国ごとの撮影内容や状況・自己採点・など。午前午後、それぞれ一時間前後で鈴木先生、飯塚先生と面談。
初日はとりあえず3月から今までの結果報告。作品を見せて出来たこと、出来なかったこと、方向性、写真の見せ方などを話し合う。あと撮影ノートを見せる。



一日目の鈴木ゼミ授業中。

二日目。

初日の面談をもとに40~50枚程度で写真をセレクトしたものを見ていただく。タイトル、なにを撮っているかも説明できるようにしておく。





二日目の飯塚ゼミ授業中。ちなみに授業風景はどちらもウオンさんに撮影していただきました。寡黙で紳士で長身で器用な方です。長丁がドラえもんなら彼はノッポさんの存在でしょうか？こやたの誕生日もありました。ささやかにささやかにお祝い。...で、ほんとは何歳なの？笑



三日目(最終日)。
全体講評日。

約20枚にまとめた2作品をタイトル、解説付きでクラスメイト・両ゼミの先生の前で発表。その後三者面談。三者面談は写真というよりはフィールドワーク中の精神、生活面での問題や人間関係などについて話します。私この三日目の全体講評の授業中に泣きました。記憶している限り。授業中にあんなに公開して泣いたのは義務教育も含めて初めてかもしれません。それだけ悔しかったのかなと、自分自身が。そして情けなかったんです。自分の作品に対して思っていること、感じていること、どうしてこの写真を選んであの写真を外したのか、その境界線を明確に説明できない自分。わかってもらえない、ではなくわかってもらう努力をしていない自分。「がんばります」というのは三者面談で勝手に宣言しました。そんなのは当たり前だと笑われましたが、がんばりますね、先生。この二か月はとにかく環境に慣れていくことと、とりあえず撮影して踏み込んでいくことに懸命になっていましたが、今後は冷静に自分の作品を見直し構築していきたいです。はい。いつも言葉足らずですみません。なので、頑張りますねー。というかわりたいたと、変わろうと思います。



手始めに話を初めました。

「おのれに愛を注ぎたい。」
FWにはカリスマ美容師がいました。



カテゴリ：

post by 佐木 瞬 | 日時: 2007.06.07 | [パーマリンク](#) | [コメント \(289\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)